

厚生労働省和歌山労働局発表
平成25年4月30日(火)

| | |
|----|--------------|
| 担当 | 厚生労働省和歌山労働局 |
| | 職業安定部職業安定課 |
| | 長 木村 孝 |
| | 労働市場情報官 森脇 稔 |
| 電話 | 073(488)1160 |

一般職業紹介状況（平成25年3月分）

有効求人倍率（季節調整値）は、前月と同水準の0.86倍となった。

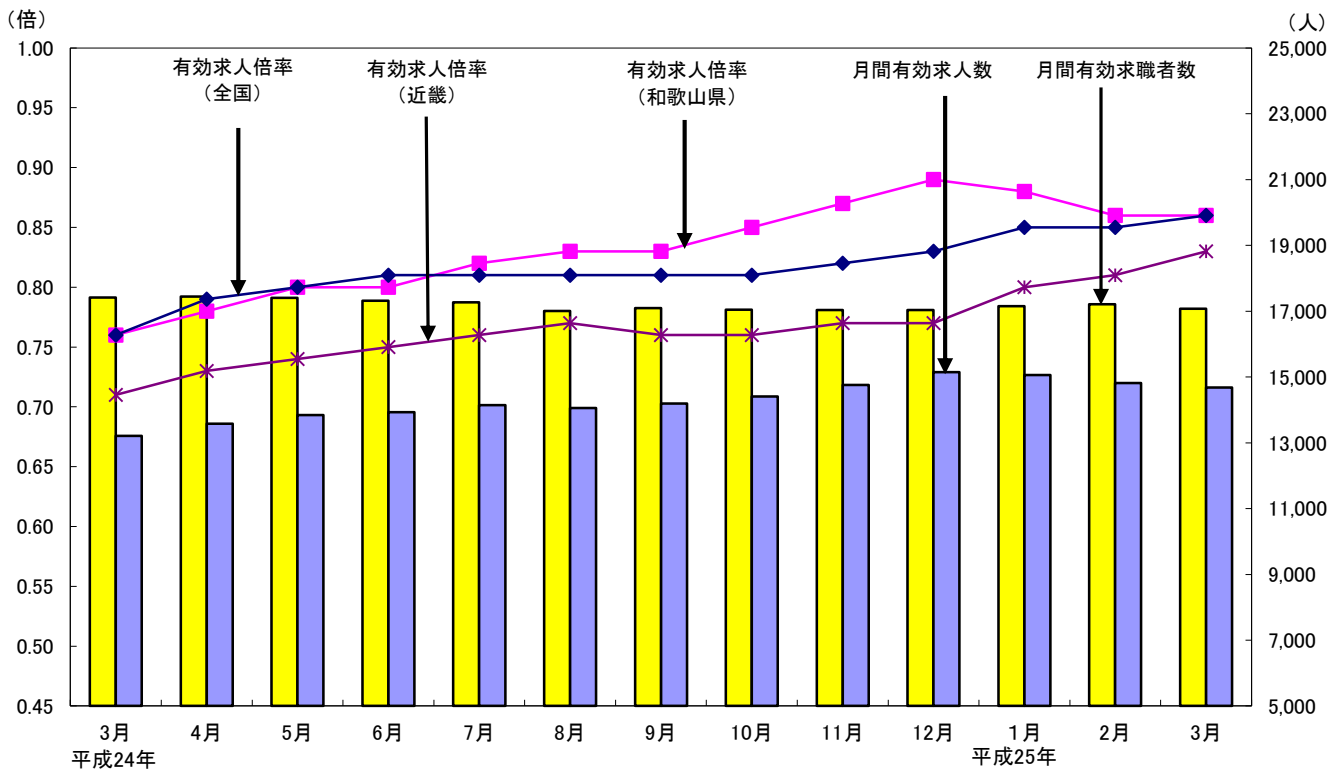
全国の有効求人倍率（季節調整値）は0.86倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率（季節調整値）は0.83倍で、前月より0.02ポイント上昇。

新規求人倍率（季節調整値）は1.35倍で、前月より0.03ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数（原数値）は対前年同月比0.9%減。
- ◎ 新規求職者数（原数値）は対前年同月比9.4%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成24年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

有効求人倍率（季節調整値）は前月と同水準の0.86倍となった。

全国の有効求人倍率（季節調整値）は0.86倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率（季節調整値）は0.83倍で、前月より0.02ポイント上昇。

新規求人倍率（季節調整値）は1.35倍で前月より0.03ポイント上昇となり3か月ぶりに前月を上回った。

正社員有効求人倍率（原数値）は前年同月より0.04ポイント上昇の0.46倍で、33か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 有効求人数（原数値）は15,525人で、前年同月比9.2%増（12か月連続増）となった。
新規求人数（原数値）は5,514人で、前年同月比0.9%減（9か月ぶり減）となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減（前年同月差）をみると、
「医療、福祉」（74人増）、「サービス業」（57人増）、「教育、学習支援業」（47人増）、「学術研究、専門・技術サービス業」（35人増）などで増加し、「情報通信業」（113人減）、「運輸業、郵便業」（87人減）、「宿泊業、飲食サービス業」（78人減）などは減少した。

(3) パートの求人数をみると、2,646人で前年同月比4.5%増となった。

3 求職者の動き

(1) 有効求職者数（原数値）は17,296人で、前年同月比3.0%減（24か月連続減）となった。

新規求職者数（原数値）は4,477人で、前年同月比9.4%減（2か月連続減）となった。

(2) 新規求職者（パートを含む常用）を態様別にみると、在職者は1,174人で前年同月比4.7%減（4か月ぶり減）、離職者は2,517人で同6.9%減（2か月連続減）となり、また、無業者は761人で同20.7%減（16か月連続減）となった。

4 まとめ

有効求職者は、前年に比べ24か月連続で減少し、新規求職者も2か月連続で減少となった。また、新規求人数は9か月ぶりに微減となったが、有効求人数は増加している。

雇用情勢は持ち直しの動きもみられるが、依然として厳しい状況にある。